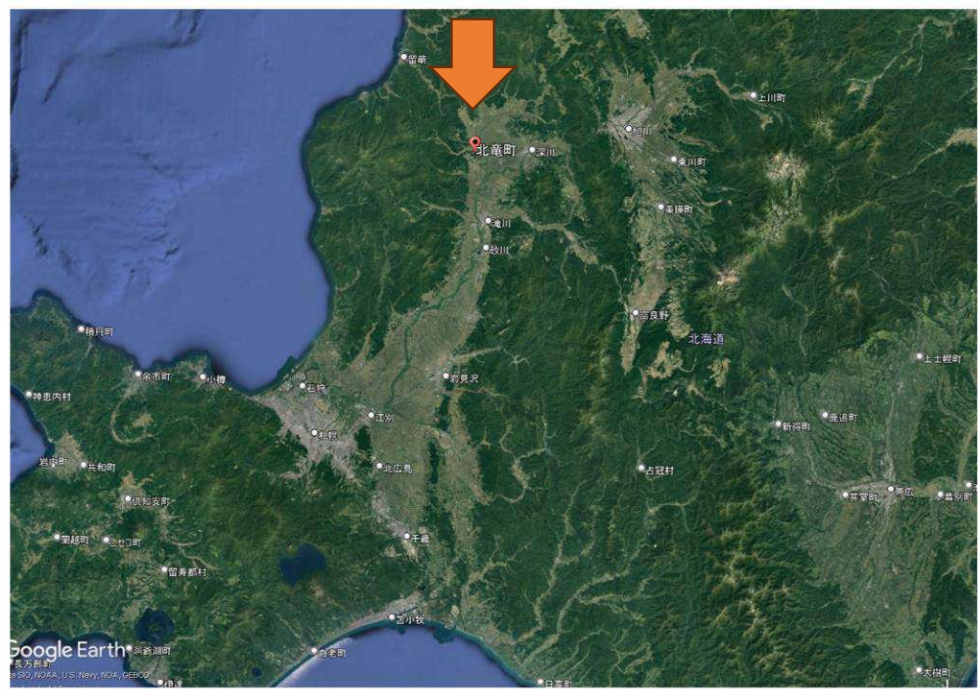
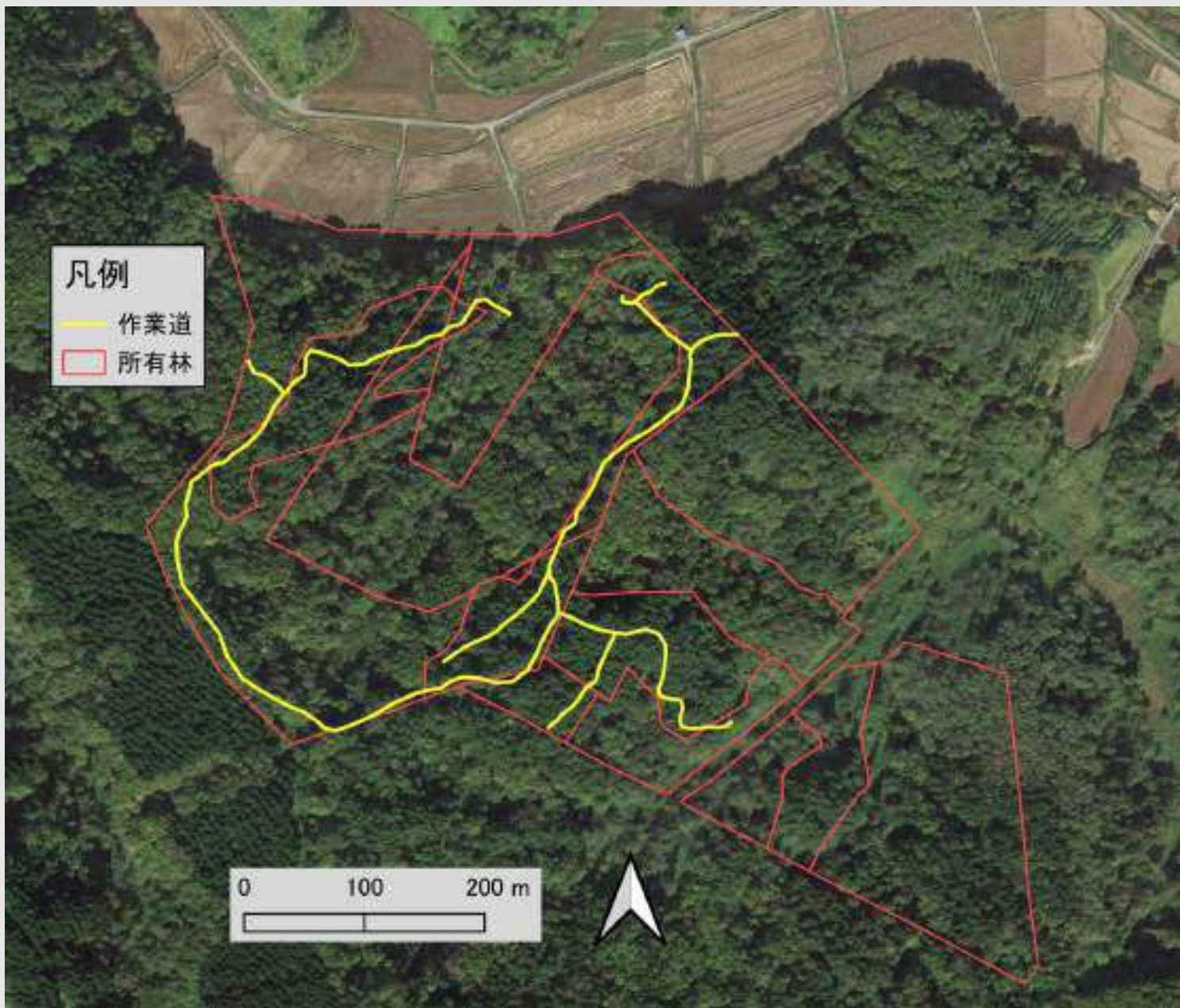


持続的な森づくりを目指して

ほくりゅう里山クラブ
代表 上井 達矢

北空知 北竜町





所有林 約25ha

※申請面積はここから抜粋

天然林 17.2ha
63～73年生

カラマツ林 8.28ha
60年生弱

林内の状況



樹木の成長が悪い

枯死木・枯損木が多い



笹が繁茂

稚樹が育っていない
見通しも悪い

ほくりゅう里山クラブの理念

POINT
1 持続可能な形で山を利活用

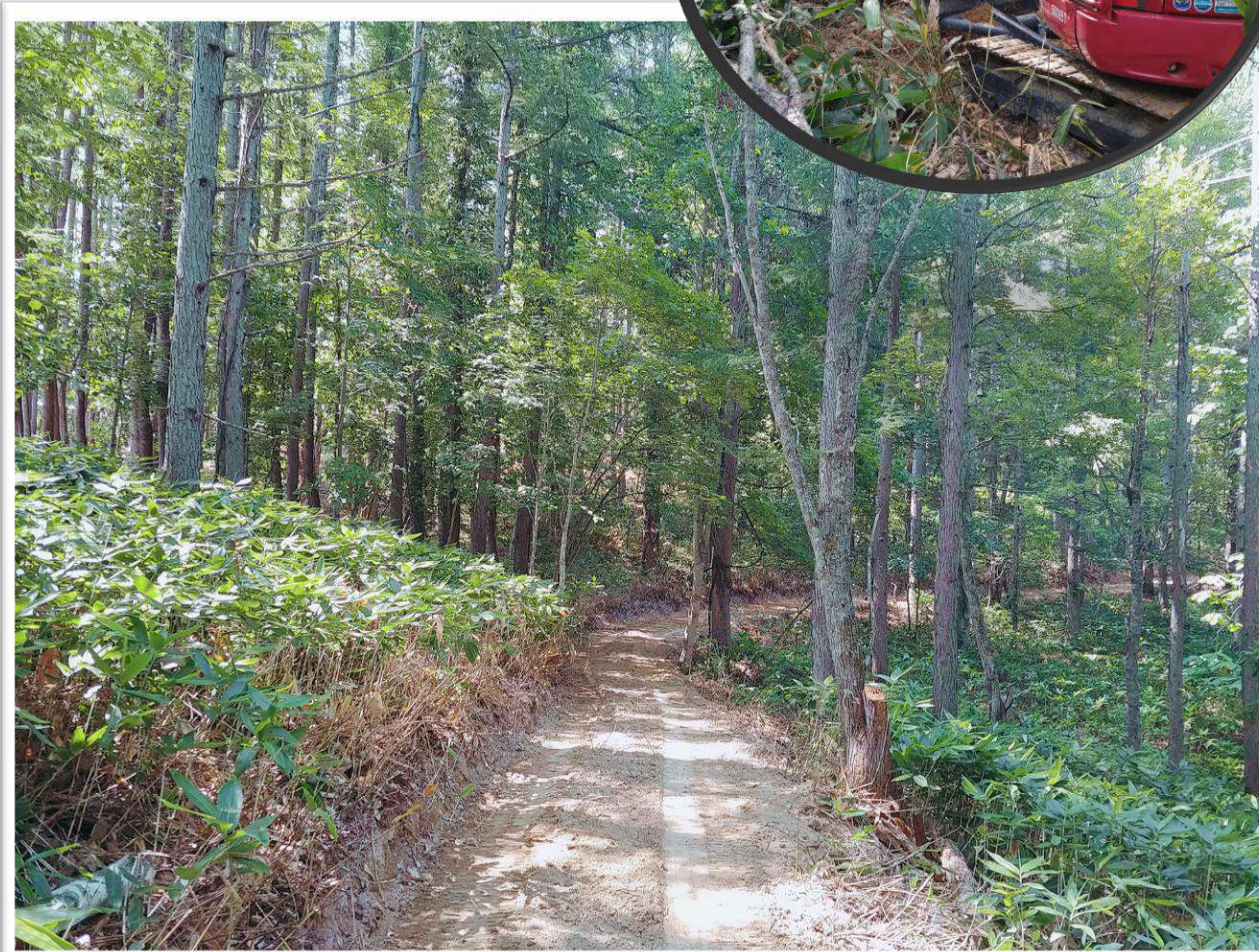
POINT
2 小さな里山で小さく展開

メンバーとお手伝いさんたち



→最初の3年 環境保全タイプ

作業道敷設



林内の見通し



笹刈り



笹刈り3年間の成果



カラマツの利用

※本交付金を直接使っていない活動



→R5年度から

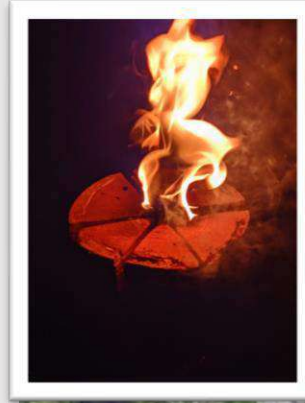
資源利用タイプ

改造フォワーダ

※機械の購入・改造に本交付金は使っていない



薪づくり



白樺樹皮の採取



笹の葉の採取



活動をととして



- ・ 笹の密林から安心できる気持ちのいい森になった
- ・ 地元の人に、
「山に手を掛けたら、こんな風になるなんて
思わなかったし、思いつきもしなかった。」と言ってもらえた
- ・ 山からつながる人たちの助けに感謝





これまでは、実験と研究の森

今後の目標

「良い森になったね」と言ってもらえる森

まずは自分が食っていけるようになること
➡研究から製造・販売にシフトする

地域発展

➡若い世代が北竜町の森で
チャレンジできる環境を整える

A low-angle photograph of a dense forest. The image shows numerous tall, slender tree trunks that stretch vertically from the bottom towards the top of the frame. The trees are dark, and their branches are visible against a bright blue sky. The perspective creates a sense of height and depth.

ありがとうございました

